

8-4-35 システム改善専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) システム改善専門委員会の開催

会員企業が運用しているマネジメントシステムの、改善や実効性向上に資する事例の収集、新たなマネジメントシステムの導入に有用な情報を収集することを目的に、12回の専門委員会(集合3回、オンライン9回)を開催した。

(2) マネジメントセミナーへの参画

マネジメントシステム委員会主催のセミナーに、傘下の専門委員会として参加し、「マネジメントシステムの効果的運用に向けて～負担感軽減のためにできること～」と題して講演した。

事前の会員企業アンケート調査から、実務者の負担感軽減のために有用と考えられる活動を整理し、具体的な事例を収集するとともに、会員企業へ浸透しつつあるAMSについても、近年の動向として認証取得組織数の推移、会員企業のAMSに対する意識、発注業務におけるインセンティブの現状などを整理し、紹介を行った。

なお、聴講者からは600件を超える意見が寄せられ、これを整理分析することで会員企業が抱えるQMS運用上の課題を抽出し、次年度以降の活動方針策定に利用した。

(3) ISO認証に関する企業アンケートの実施

2021年12月に環境配慮専門委員会との連名で、企業代表者及び事務局を対象に、会員企業のマネジメントシステム運用状況や、運用上課題等に関するアンケート調査を実施して、141社から回答を得た。なお、アンケート回答から会員企業のQMS運用の懸案事項を把握し、次年度マネジメントセミナーのテーマ設定に活かした。

(4) 外部講師による勉強会開催

2022年2月24日に、株式会社CRMサービスより村上氏を講師としてお招きし、「QMSの実効性向上のヒント～CRMに学ぶコミュニケーションとリーダーシップ～」と題しご講演頂いた。

CRMのヒューマンファクター対策のノウハウをご紹介いただくことで、マネジメントシステム改善に

つながる新たなヒントを収集する機会が得られ、実りの多い有意義な勉強会となった。

(5) QMS運用に関するヒアリング調査の実施

会員企業8社に対して、QMSの運用においてシステムの実効性向上のために取り組んでいる活動や、運用上の工夫などを収集することを目的に、オンラインのヒアリング調査を実施した。

(6) JAAM研究・実践発表会への論文投稿と発表

専門委員会でのAMSに関する調査研究活動で得た知見を、「建設コンサルタントにおけるアセットマネジメントシステムの普及と活用に関する一提案」と題した論文にとりまとめて投稿するとともに、2021年11月18日に開催された第5回JAAM研究・実践発表会にて発表した。

(7) AMSに関する情報収集

公益財団法人日本適合性認定協会(JAB)で公表される適合組織データを分析し、ISO55001(AMS)の適合組織数の年次推移、認証登録区分や分野の傾向を把握した。

(8) その他

公益社団法人土木学会からの委嘱を受け、2022年2月21日開催の第57回ISO対応特別委員会へ委員を派遣した。

2. 次年度の活動について

(1) セミナー聴講者の意見や、ISO認証に関する企業アンケートの結果をもとに、QMS運用における「実務者の負担感軽減」の視点で、ヒアリングなどの機会を活用しながら運用上の好事例を収集し、マネジメントセミナーで発表する。

(2) QMS以外のマネジメントシステムについて、アンケート調査を通じて会員企業の要望等を把握し、ニーズに応える有用な情報を提供する。

(3) 専門委員会の活動を通じて得られた知見を、積極的に外部に発信してゆく。

(4) 勉強会により、マネジメントシステムに関する最新の研究成果や、より深化した実践可能な情報を専門家から収集する。

(5) 関連する外部団体との交流を通じて、積極的に情報収集や情報交換を図る。

(システム改善専門委員会委員長 赤坂 保彦)